

レベル1



つじつま合わせ



★「つじつまを合わせる」とは、無理のない自然な話にするということ。
話の前後で「つじつま」が合うように、間に入る言葉を考えて入れよう。

今日は朝から良い天気だったので公園をお散歩しようと思っていたの。
でも朝ごはんの後にお母さんが

「

」

って言うの。だからスーパーに行って、にんじんとじゃがいもを買って帰ったんだ。
そのおかげでお昼ごはんにはおいしいカレーを家族みんなで食べられたの。だからおつかいに行ってよかったなあ。
うちのカレーにはね、たまねぎが入ってないんだ。なぜかっていうと、

弟は昔からそうなの。

私は全然平気でたまねぎは好きなんだけど、牛肉は苦手なの。だからうちのカレーはいつもチキンカレーなんだ。
やっぱり食べ物の好き嫌いってあるよね。大人になったら食べられるようになるのかなあ…

大人になったら、好きな食べ物も変わるのかな？私はアイスクリームが好きでたまらないけど、大人になってもずっと食べていそう。だって先週なんかね、

それでお父さんに食べすぎだって怒られたもん。やっぱりアイスやめられないなあ…。

そうだ、今度一緒に新しくできたアイスクリーム屋さんに行こうよ！もちろん、…お父さんには内緒でね☆

レベル2



つじつま合わせ



★「つじつまを合わせる」とは、無理のない自然な話にするということ。
話の前後で「つじつま」が合うように、間に入る言葉を考えて入れよう。

来月は年に一度の町内のお祭りの日なので、みんなで協力して楽しいお祭りになりたいです。
出店の準備をしてくれる人たちは、おでんやポップコーン、たこ焼き、焼きそばなどを作ってくれます。
私は家族と一緒に

母からは、「一緒にやることになっている山本さんはとても優しい人だから緊張しなくて大丈夫」と言われました。
山本さんはビンゴゲームの係は3回目なので、いろいろと教えてくれそうです。

お祭りの手伝いは小学1年生の時からやってきているけど、やっぱり毎年楽しみです。
なぜかというと、

正直、やっぱりご褒美があるとやる気が出ます。もちろんお祭り自体も楽しいけれど。
今年もお祭りの準備は大変だけど、協力して頑張りたいです。
実は、来月のお祭りにはもう一つ楽しみなことがあって…、

その子がこの町に来てはじめてのお祭りだから、たくさん楽しませてあげたいと思っています。
そのためにも、今日から準備頑張るぞ~!

レベル3



つじつま合わせ



★「つじつまを合わせる」とは、無理のない自然な話にするということ。
話の前後で「つじつま」が合うように、間に入る言葉を考えて入れよう。

今朝、その事件は起きた。

家の中で何か物音がすると思っていると、リビングから突然ねこが飛び出してきた。

結局、お父さんはすっかり怒っているし、弟は泣いているし、お母さんはあきれているので、大変な朝だった。
でも私は正直、このかわいいねこを飼いたいと思っていた。
だから、

夕食の時、お父さんは私と弟に「しっかり責任をもって育てなさい」と言って、許してくれた。
それから1年経ったけれど、今ではお父さんが一番ねこにメロメロになっている。
今思えば、あの時私が勇気を出していなかったら、今でも捨て猫のままだったかもしれない。
ねこの「ミーちゃん」がうちに来てくれて本当によかった。

レベル4



つじつま合わせ



★「つじつまを合わせる」とは、無理のない自然な話にするということ。
話の前後で「つじつま」が合うように、間に入る言葉を考えて入れよう。

前から友達と旅行に行きたいねという話はずいぶん前からしていたけど、やっと夏休みに行けることになった。
行き先はいろいろと迷った結果、横浜に決めた。お目当ては横浜中華街。
私は大人気の大きい肉まんを食べたいという話をしたら、

そんな友達だから、一緒に食べ歩きしたら絶対に楽しいと思う。
お互いに食いしん坊だからかなり食べすぎちゃうかも。まあ、それも旅行の醍醐味ってことで。

でも一つ問題があって、

こればかりは仕方がないけど、ちょっと心配症すぎるなあって思ってしまう。
でも、私もいつか大人になって同じ立場になったら、同じことを思うのかな…わからないけど。

レベル1 回答例



つじつま合わせ



★「つじつまを合わせる」とは、無理のない自然な話にするということ。
話の前後で「つじつま」が合うように、間に入る言葉を考えて入れよう。

今日は朝から良い天気だったので公園をお散歩しようと思っていたの。
でも朝ごはんの後にお母さんが

お母さんの言葉によって行動が
散歩から買い物に変わったことが
ポイント。

「お昼ごはんのカレーの材料買い忘れちゃって…、買いに行ってくれない？
お母さん今から町内会の掃除のお手伝いに行かなきゃいけないって時間がないの。
たけしがカレー楽しみにしてるから、どうしても今日作りたくて…。お願い！」

って言うの。だからスーパーに行って、にんじんとじゃがいもを買って帰ったんだ。
そのおかげでお昼ごはんにはおいしいカレーを家族みんなで食べられたの。だからおつかいに行ってよかったなあ。
うちのカレーにはね、たまねぎが入ってないんだ。なぜかっていうと、

たけしは赤ちゃんの時からたまねぎが嫌いで、サラダに入ってる生のもダメだし、
カレーみたいに火が通っていてもダメなの。

弟は昔からそうなの。

私は全然平気でたまねぎは好きなんだけど、牛肉は苦手なの。だからうちのカレーはいつもチキンカレーなんだ。
やっぱり食べ物の好き嫌いってあるよね。大人になったら食べられるようになるのかなあ…

大人になったら、好きな食べ物も変わるのかな？私はアイスクリームが好きでたまらないけど、大人になってもずっと食べていそう。だって先週なんかね、

冷凍庫に入ってた3種類のアイス、朝昼晩と1日で全部食べちゃったの。
家には「アイスは1日1個まで」というルールがあるんだけど、つついね…。

それでお父さんに食べすぎだって怒られたもん。やっぱりアイスやめられないなあ…。

そうだ、今度一緒に新しくできたアイスクリーム屋さんに行こうよ！もちろん、…お父さんには内緒でね☆

レベル2—回答例



つじつま合わせ



★「つじつまを合わせる」とは、無理のない自然な話にするということ。
話の前後で「つじつま」が合うように、間に入る言葉を考えて入れよう。

来月は年に一度の町内のお祭りの日なので、みんなで協力して楽しいお祭りにしたいです。
出店の準備をしてくれる人たちは、おでんやポップコーン、たこ焼き、焼きそばなどを作ってくれます。
私は家族と一緒に、

みんなで最後に楽しむビンゴゲームの係をすることになっています。
お隣の山本さんも一緒に、来週からさっそくビンゴカードの準備に取り掛かる予定です。

母からは、「一緒にやることになっている山本さんはとても優しい人だから緊張しなくて大丈夫」と言われました。
山本さんはビンゴゲームの係は3回目なので、いろいろと教えてくれそうです。

お祭りの手伝いは小学1年生の時からやってきているけど、やっぱり毎年楽しみです。
なぜかというと、

あとに書いてある「ご褒美」を
読み取れたかな？

お祭りのお手伝いをしてくれた子どもには、最後に町内会からジュースやお菓子が配られるから。
とくに毎年もらえる冷えたラムネは、お祭りの後に飲むと本当においしいです。

正直、やっぱりご褒美があるとやる気が出ます。もちろんお祭り自体も楽しいけれど。
今年もお祭りの準備は大変だけど、協力して頑張りたいです。
実は、来月のお祭りにはもう一つ楽しみなことがあって…、

「この町に来てはじめて」と、
矛盾がないようにしよう。

去年転校してきたクラスの友達が、今年はお客さんとしてお祭りに遊びに来てくれるみたいです。
東京のお祭りがなくて引越してきたから、楽しみだと言っていました。

その子がこの町に来てはじめてのお祭りだから、たくさん楽しませてあげたいと思っています。
そのためにも、今日から準備頑張るぞ～!



つじつま合わせ



★「つじつまを合わせる」とは、無理のない自然な話にするということ。
話の前後で「つじつま」が合うように、間に入る言葉を考えて入れよう。

今朝、その事件は起きた。
家の中で何か物音がすると思っていると、リビングから突然ねこが飛び出してきた。

あとに書いてある三人の様子に
つながるようにしよう。

あわててねこを追いかける弟も飛び出してきた、「そのねこどうしたの?」と聞くと、
「駅前で捨てられているのを見つけたんだ、お父さんとお母さんには内緒にして!」と言う。
でもすぐに物音で起きてきたお父さんに見つかって、
「勝手に連れて帰って来るなんて無責任だ」と叱られた。
お母さんも「隠そうとしたって、いつかばれることなのに…」とため息をつく。

弟はどうしても飼いたいと両親にお願いしたけれど、両親はダメの一点張り。
理由は、お金がかかるし、命を育てるのは簡単じゃないから。

結局、お父さんはすっかり怒っているし、弟は泣いているし、お母さんはあきれているので、大変な朝だった。
でも私は正直、このかわいいねこを飼いたいと思っていた。
だから、

「お父さんお母さん、私もこのねこを飼いたい。捨てられていたところを、やっと見つけてもらえたんだから。
この子を飼えるなら、この先の誕生日プレゼントもクリスマスプレゼントもいらない。お小遣いも。
それでこの子を飼うためのお金が少しは作れるでしょ?
お世話だって姉弟で協力してちゃんとする。お母さんにもお父さんにも迷惑はかけないって約束する。
だからお願い、飼うことを許して…!」
と、必死にお願いした。
お父さんもお母さんも驚いて、少し考えると言った。

夕食の時、お父さんは私と弟に「しっかり責任をもって育てなさい」と言って、許してくれた。
それから1年経ったけれど、今ではお父さんが一番ねこにメロメロになっている。
今思えば、あの時私が勇気を出していなかったら、今でも捨て猫のままだったかもしれない。
ねこの「ミーちゃん」がうちに来てくれて本当によかった。

レベル4—回答例



つじつま合わせ



★「つじつまを合わせる」とは、無理のない自然な話にするということ。
話の前後で「つじつま」が合うように、間に入る言葉を考えて入れよう。

友人の人柄は、文脈から想像すると
ポジティブなイメージになるはず。

前から友達と旅行に行きたいねという話はずいぶん前からしていたけど、やっと夏休みに行けることになった。
行き先はいろいろと迷った結果、横浜に決めた。お目当ては横浜中華街。
私は大人気の大きい肉まんを食べたいという話をしたら、

「もちろん!私もあの肉まんは並んででも絶対に食べたい!他にも食べたいもののリストを作って、
回る順番も決めておこうよ。だっておいしいものは絶対に全部食べたいもん!」
と意気込んでいた。
一緒に食べたいもののリストを作っている時もものすごくハイテンションだった。

そんな友達だから、一緒に食べ歩きしたら絶対に楽しいと思う。
お互いに食いしん坊だからかなり食べすぎちゃうかも。まあ、それも旅行の醍醐味ってことで。

でも一つ問題があって、

「誰が」「何に対して」、「心配」しているか。
分かるようになっているかな?

お父さんが私たちの旅行をかなり心配している。
もう高校生なのに、電車をまちがえるんじゃないかとか、変な人に騙されるんじゃないかとか、
お金の管理はできるのかとか、毎日やたらと注意してくる。
そしていつも最後には「子どもだけで旅行に行くのはまだ早いんじゃない?やめといたら?」
なんて言ってくる。
私は絶対に行きたいし楽しみにしているからやめるつもりはないと言っても、
「それでもなあ…」と、何かと理由をつけてはブツブツ言ってくる。

こればかりは仕方がないけど、ちょっと心配症すぎるなあって思ってしまう。
でも、私もいつか大人になって同じ立場になったら、同じことを思うのかな…今はわからないけど。